

入 試 要 項

一般選抜

一般選抜（編入学）

桐朋学園大学音楽学部

2027



目 次

一般選抜〈1年次入学〉募集要項	4
一般選抜（編入学）〈2・3年次入学〉募集要項	7
出願書類記入上の諸注意（全試験共通）	9
練習室の貸出について（全試験共通）	10
受験上の注意	11
試験日程表「一般選抜」「一般選抜（編入学）」	12
一般選抜 入学試験科目・課題	13
一般選抜（編入学） 入学試験科目・課題	23
合格発表、入学手続、入学金・授業料等	26
特待生制度および奨学金制度・学生会館	27
交通機関案内図	29

<個人情報の取り扱いについて>

本入学試験以外の目的では使用しない

◆出願にあたっては、この入試要項の他に以下を準備すること。

<ダウンロードする書類等>

- ・志願票
- ・受験曲目票
- ・受験証、出願書類送付先票（貼付用）
- ・伴奏譜提出票
- ・桐朋学園音楽部門奨学金申請書
- ・桐朋学園音楽部門学生会館入居願

<用意するもの>

- ・レターパックライト（ダウンロードした出願書類送付先票を、宛先欄に貼付する。）
- ・受験証返送用封筒（長3サイズの封筒に410円分の切手を貼付し出願書類に同封する。）
※志願者本人が受け取る住所を記入し、志願者名を「様」書きにて記入、封筒右下に「専攻」を記入すること。
- ・写真2枚（背景なし、正面上半身脱帽、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm、裏面に氏名を記入）

いずれのコースも出願には以下のSTEP1～3の手続きが必要となります。

STEP1 出願書類のダウンロード

STEP2 入学検定料納入

STEP3 出願書類・入学検定料振込明細の郵送

桐朋学園大学 アドミッション・ポリシー

アドミッション・ポリシー

- * 音楽表現に対する能力や意欲を有し、自己の目標を持っている者
- * 音楽文化に関する知識と技量を習得し、社会の発展に貢献する意思のある者
- * 音楽文化の領域を学ぶために必要な理解力・構想力を持っている者

入学選抜試験で課す課題により、アドミッション・ポリシーで明記した次の能力を測る。

(表現・意欲・関心・創造的思考の分野)

- * 音楽表現に対する能力や意欲を持っている者
- * 自分なりの音楽表現を究める努力をしている者
- * 自己の目標を持ち、専攻分野の修得に強い意志を持っている者
- * 音楽表現を通して、社会の発展に貢献する意思のある者

(知識・技能の分野)

- * 音楽分野に関する基礎的な知識と技能を習得している者

(理解・判断の分野)

- * 音楽文化の領域を学ぶために必要な理解力・構想力を持っている者

本学で取得できる学位 学士(音楽)

本学で取得できる資格 高等学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状

入試に関する問い合わせ先・出願書類提出先

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1

桐朋学園大学音楽学部 事務局入試係

電話:03-3307-4122 (直通) メール: exam@tohomusic.ac.jp

問い合わせ時間：月～金：午前9時～午後4時

(祝日や長期休暇期間中の、事務局閉室日は対応できません。)

楽器略語・コード表

専 攻		楽器略語	コ ー ド	
ピアノ		Pf	01	
弦 楽 器	ヴァイオリン	Vl	11	
	ヴィオラ	Va	12	
	チェロ	Vc	13	
	コントラバス	Cb	14	
管 楽 器	木 管	ピッコロ	Picc.	26
		フルート	Fl	21
		オーボエ	Ob	22
		クラリネット	Cl	23
		バス・クラリネット	B.Cl	27
		ファゴット	Fg	24
		サクソフォン	Sx	25
	金 管	トランペット	Tp	31
		テノール・トロンボーン	TT	32
		バス・トロンボーン	BT	33
		ユーフォonium	Eu	34
		チューバ	Tu	35
		ホルン	Hr	36
	打 楽 器	パーカッション	Pc	41
マリンバ		Ma	42	
ハ ー プ		Hp	51	
古 楽 器	リコーダー	Re	61	
	フラウト・トラヴェルソ	FT	62	
	バロック・オーボエ	BO	63	
	ヴィオラ・ダ・ガンバ	VG	64	
	チェンバロ	Ce	65	
	バロック・ヴァイオリン	BV	66	
	バロック・チェロ	BC	67	
声 楽	女声	Vf	71	
	男声	Vm	72	
作 曲	創作	Co	81	
	MSD	Ca	99	
指 揮		Cd	82	
ミュージコロジー		Mu	91	

「一般選抜」〈1年次入学〉募集要項

募集人員 40名

音楽学科 [ピアノ専攻、弦楽器専攻、管楽器専攻、打楽器専攻、ハープ専攻、古楽器専攻、声楽専攻、作曲専攻、指揮専攻、ミュージコロジー専攻]

出願資格

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2027年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条※の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※以下のいずれかに該当する者

- (ア) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (ウ) 文部科学大臣の指定した者
- (エ) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者を含む。)および2027年3月31日までに合格見込みの者
- (オ) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者

選考方法

選考は試験(一般学科、専門科目および専攻実技)による。(P.13～参照)

※第2志望について

この選抜では、1回の出願で第2志望専攻まで受験出願できる。第2志望を出願する場合は、一般選抜志願票の第2志望欄に記入すること。詳細は、「出願書類記入上の諸注意(P.9)」参照のこと。また、受験に当たっては、「受験上の注意」4.(P.11)も参照。なお、第2志望も出願した場合、志望順位にかかわらず、それぞれの専攻で選考を行い、第1、第2志望とも合格の場合は、第1志望の専攻について合格とし、いずれか一方に合格の場合は、当該志望を合格とする。

試験会場

本学〔仙川キャンパス・調布キャンパス〕(P.29参照、詳細は受験証返送時に通知する。)

入学検定料

55,000円

出願期間・方法

① 入学検定料納入期間	2027年1月6日(水)9時00分～1月15日(金)23時59分
② 出願書類郵送期間	2027年1月6日(水)～1月15日(金)郵送必着

②出願書類郵送期間に、レターパックライトに出願書類を同封して期限までに送付すること。

試験日程

2027年2月9日(火)～2月13日(土) ※専攻により異なる。詳細は「試験日程表」P.12を参照。
 ※ 追試験は原則行わないが、感染症等の状況が変化したときには、ホームページで連絡する。

出願手続

1. 受付の流れ ※出願期間については、P.4 を参照。

STEP 1 出願書類のダウンロード

① 以下の URL にアクセスし、「WEB 出願申請準備フォーム」に入力・送信

URL: <https://www.secure-cloud.jp/sf/1603091778nUTKUbZn>

② 「sf@secure-cloud.jp」より受付完了メールを受信

③ メールに記載された URL より「出願書類」をダウンロードし、印刷・記入

※受付完了メールを受信できるよう事前に@secure-cloud.jpのドメイン指定解除設定を行うこと。

利用する携帯キャリアにより迷惑メールに振り分けられる場合があるので確認すること。

※また、その後の連絡用に@tohomusic.ac.jpのドメイン解除設定も行うこと。

**STEP 2 入学検定料納入**

出願期間内に振り込み手続きを行う。(下記 2.「入学検定料納入方法」を参照)

STEP 3 出願書類・入学検定料振込明細の郵送

出願書類及びSTEP2で入学検定料を振り込みしたことが分かる書類をレターパックライトに同封して郵送

2. 入学検定料納入方法

STEP1の必要書類をダウンロード印刷・記入の後、出願期間内に振り込み手続きを行うこと。

◎注 出願が受理されている場合、入学試験を受験しなくても払込済みの入学検定料は返還しない。

< 入学検定料 >	55,000 円
< 振込先 >	・みずほ銀行調布支店 当座9778 ・三菱UFJ銀行仙川支店 当座49612 ・三井住友銀行国領支店 当座1015159
< 振込先口座名義 >	学校法人桐朋学園音楽科 [ガク]トウホウガクエンオンガクカ]
< 注意事項 >	振込みの際は、 振込人名義を「受験者名」とし、名前の前に「1135」と加えること。 (例:1135 トウホウ タロウ)

3. 出願書類

出願書類は「出願手続」STEP1によりテンプレートをダウンロード、印刷し記入すること。

書類提出はレターパックライトにて郵送のこと。

出願書類がレターパックライトに入らないサイズの場合は、簡易書留郵便での郵送も可とする。

a) 一般選抜志願票・受験曲目票

記入方法については、P.9～P.10 参照。

b) 受験証(写真貼付)

必要事項を記入し、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。(正面上半身脱帽、背景のないもの、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm)

c) 調査書等 文部科学省所定様式による。(出願前3カ月以内に発行されたもの)

(1) 高等学校卒業生(見込みの者)および高等専門学校3年修了者(見込みの者)は、出身学校長が作成する「調査書」(厳封したものに限り)を提出する。

(2) 外国における12年の課程修了者(見込みの者)は、「修了(見込み)証明書」と「成績証明書」を提出する。ただし、日本と外国の双方の高等学校に在籍した者は、日本の高等学校の在学中の「調査書」または「成績証明書」も併せて提出する。

(3) 高等学校卒業程度認定試験合格者(大学入学資格検定合格者を含む)はその「合格証明書」と「合格成績証明書」を提出する。免除科目がある場合は、その科目の「成績証明書」(履修した高等学校で発行)も併せて提出する。

(4) その他、高等学校を卒業した者と同等の学力があると認められた者(見込みの者)は、その「修了(見込み)証明書」と「成績証明書」または「調査書」を提出する。

d) 受験証返送用封筒

長3サイズ封筒を準備し、志願者本人が受け取る住所・宛名(志願者名を「様」書き)を記入する。封筒右下に専攻を記入し、410円分の切手を貼付する。

e) 伴奏譜(コピー譜可)

弦楽器、管楽器、打楽器、ハープ、古楽器(チェンバロを除く)、声楽の各専攻志願者は楽譜を提出する。ただし、無伴奏曲で受験する者を除く。各伴奏楽譜の表紙に「伴奏譜提出票」を貼付する。コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいように屏風綴に体裁を整える等、配慮のうえ提出する。(P.10参照)

f) 振込証憑書類

ATMのご利用明細書のコピー、ネットバンキングでの振込後の画面を印刷したもの等入学検定料を振り込みしたことが分かる書類。

g) (任意) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書

申請者は「桐朋学園音楽部門奨学金申請書」を別封筒(各自で用意)に入れ、表面に「奨学金関係書類在中」と朱書きし、出願書類に同封する。

h) (任意) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願

入居を希望する者のみ提出する。

i) (任意) ソルフエージュ(聴音・新曲視唱)、楽典の認定証のコピー

本学の2026年度夏期講習の認定試験合格者でソルフエージュA/B(聴音・新曲視唱)および楽典の試験科目の試験免除を受ける場合に提出すること。認定証が提出されないと、試験免除とはならない。なお、認定証は2026年度中に発行されたものに限る。

4. 出願先・問い合わせ先 P.2 を参照。

合格発表・入学手続等

P.26 を参照。

「一般選抜（編入学）」〈2・3年次入学〉募集要項

募集人員

若干名

音楽学科

[ピアノ専攻、弦楽器専攻、管楽器専攻、打楽器専攻、ハープ専攻、古楽器専攻、声楽専攻、作曲専攻、指揮専攻、ミュージコロジー専攻]

出願資格

〈2年次編入学〉

本学において修得が義務づけられている専攻にかかわる科目の1年次相当分の必修単位を他大学等で修得した、以下のいずれかに該当する者。

- (1) 大学、短期大学若しくは第4号に定める専修学校専門課程に1年以上在学した者又は高等専門学校に4年以上在学した者
- (2) 他の大学を卒業した者又は本学を卒業し3年を超えた者
- (3) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者
- (4) 大学入学資格を有する者であって、修業年限が2年以上であり、かつ、総授業時数が1,700時間以上の要件を満たす専修学校専門課程を修了した者
- (5) 外国の教育機関に在学し、又は、卒業した者であって前4号に相当すると本学が認めた者

〈3年次編入学〉

本学において修得が義務づけられている専攻にかかわる科目の2年次相当分の必修単位を他大学等で修得した、以下のいずれかに該当する者。

- (1) 大学、短期大学若しくは第4号に定める専修学校専門課程に2年以上在学した者又は高等専門学校に5年以上在学した者
- (2) 他の大学を卒業した者又は本学を卒業し3年を超えた者
- (3) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者
- (4) 大学入学資格を有する者であって、修業年限が2年以上であり、かつ、総授業時数が1,700時間以上の要件を満たす専修学校専門課程を修了した者
- (5) 外国の教育機関に在学し、又は、卒業した者であって前4号に相当すると本学が認めた者

注意)

出願にあたっては、単位を証明する書類等[成績証明書・単位修得(見込み)証明書]を用意し、本学に2026年12月1日までに問い合わせること。

選考方法

選考は試験(一般学科、専門科目および専攻実技)による。(P.23参照)

試験会場

本学[仙川キャンパス・調布キャンパス](P.29参照、詳細は受験証返送時に通知する。)

入学検定料

55,000円

注意)

同一専攻を志望する場合は、「一般選抜(編入学)」と「一般選抜」を併願することができる。この場合は、本要項のP.4～P.6「一般選抜」各項目に従い、それぞれの試験別に出願する。その際、出願書類2件を同封すること。ただし、〈専攻実技試験課題〉が「一般選抜」と同じ専攻は、伴奏譜は1つ提出すればよい。なお、専攻実技試験の課題が共通する場合、その課題の実技受験は1度でよい。

出願期間・方法

「一般選抜」と同じ(P.4参照)

出願手続

1. 受付の流れ 「一般選抜」と同じ(P.5参照)
2. 入学検定料納入方法 「一般選抜」と同じ(P.5参照)
3. 出願書類
 - a) 一般選抜志願票(編入学)・受験曲目票 記入方法については、P.9～P.10参照。
 - b) 受験証(写真貼付) 「一般選抜」と同じ(P.6参照)
 - c) 成績証明書と単位修得(見込み)証明書(大学または短期大学のもの)
 - d) 受験証送付用封筒 「一般選抜」と同じ(P.6参照)
 - e) 伴奏譜(コピー譜可) 「一般選抜」と同じ(P.6参照)
 - f) (任意)桐朋学園音楽部門学生会館入居願 「一般選抜」と同じ(P.6参照)
 - g) (任意)桐朋学園音楽部門奨学金申請書 「一般選抜」と同じ(P.6参照)
 - h) (任意)ソルフェージュ(聴音・新曲視唱)、楽典の認定証のコピー 「一般選抜」と同じ(P.6参照)
 - i) 振込証憑書類 「一般選抜」と同じ(P.6参照)
4. 出願先・問い合わせ先 P.2 を参照。

試験日程

2027年2月9日(火)～2月13日(土) ※専攻により異なる。詳細は「試験日程表」P.12を参照。

合格発表・入学手続等

P.26 を参照。

出願書類記入上の諸注意（全試験共通）

試験区分にあった「志願票・受験曲目票」を使用すること。

志願票の記入方法

1. 楽器略語・コード…………… P.3「楽器略語・コード表」に従って記入する。第2志望もある場合は第2志望の「楽器略語・コード」も記入する。
2. 受付番号（※印欄）…………… 記入しない。
3. 氏名…………… 戸籍名を楷書で記入する。姓と名に分け、フリガナをふる。外国籍の場合はアルファベット名を併記する。
4. 性別…………… 女、男を○で囲む（任意）。
5. 生年月日…………… 西暦で年月日を記入する。
6. 手続き書類等宛先…………… 住所、受験者電話番号、受験者メールアドレス等を記入する。
住所は入学手続き書類の送付先になるので、正確に記載する。
受験者メールアドレスは、本学からのメールが受信できるよう、ドメイン解除設定可能なアドレスを記入する。
保証人氏名は、原則として保護者を記入する。
7. 写真…………… タテ4cm×ヨコ3cm、正面上半身無帽、3ヶ月以内に撮影した背景のないものを、写真裏面に氏名を書いてから貼ること。「受験証」にも同じ写真を貼ること。
8. 出願資格…………… 該当する番号を○で囲む。卒業・卒業見込み、または修了した年を西暦で記入する。出身校の所在都道府県名および学校名を枠内に記入する。
9. 編入希望年次…………… 編入学のみ。編入学を希望する年次を○で囲む。
10. 認定証の有無…………… 講習会での認定試験合格者でソルフェージュ（聴音・新曲視唱）あるいは楽典の試験科目の受験免除を受ける場合、該当の項目を○で囲む。この場合、認定証のコピーの送付を忘れないこと。
11. ミュージコロジー専攻受験希望外国語… 1カ国語を選択し、番号を○で囲む。当日の変更は不可。
12. 楽器の使用希望…………… 自分の楽器を使用する場合は「1. なし」の数字を○で囲む。
(コントラバス専攻生のみ) 本学の楽器を使用する場合は「2. あり」の数字を○で囲む。
13. 特別練習の希望…………… コントラバス、小太鼓、マリンバ、ハーブ、チェンバロの志願者のうち、
(特殊楽器専攻生のみ) 入試期間中に本学での専攻楽器練習を希望する者は、「2. あり」の数字を○で囲む。希望しない場合は、「1. なし」の数字を○で囲む。
14. 障がいおよび配慮希望の有無・内容… 障がいがある場合は診断名および配慮希望の有無、内容を記入すること。
※任意、別紙可、可否には一切関係ありません。
15. 入学後の実技担当希望教員名… 本学において決定するが、希望がある場合は、実技担当希望教員名を記入する。
ただし、希望通りにならない場合がある。ミュージコロジー専攻の実技担当希望教員は、「副科ピアノ・理論ピアノ」欄に記入すること。
16. 学生会館入居申請…………… 入居を希望する者は申請欄に○を記入する。
17. 奨学金申請…………… 奨学金を申請する者は申請欄に○を記入する

受験曲目票の記入方法

1. 「楽器略語・コード」、「氏名」…志願票と同様に記入する。
2. 「※受付番号」…何も記入しない。
3. 「伴奏」…伴奏がつく楽曲の場合「有」を○で囲む。
伴奏がつかない楽曲の場合「無」を○で囲む。
4. 編入学希望年次…該当する年次を○で囲む。
5. 指定曲のうち、ヴァイオリン、ヴィオラの課題(2)、チェロの課題(3)については、指定された曲目のうち、選択する曲目の課題番号を併せて記入する。
管楽器は、ファゴット、ユーフォニウム以外の専攻について、選択した曲目を記入する。なお、クラリネットの課題(1)-(a)、サクソフォンの課題(1)は、所定の欄に選択した2曲の課題番号を記入する。
古楽器はリコーダー、ヴィオラ・ダ・ガンバ、バロック・ヴァイオリン、バロック・チェロについて、選択した曲目を記入する。
6. 演奏する曲目のうち、自由曲、任意の曲については具体的・詳細に記入する。(指定曲は記入不要)
7. 第2志望がある場合は、第2志望専攻の曲目についても記入する(P.11参照)。
8. 「副科ピアノ」は、作曲家・曲目等を具体的に記入する。
9. 出願後の受験曲目等の変更は、認めない。

伴奏譜提出票の記入方法

1. 「区分」…『一般』または『編入』と記入する。(併願の場合は『一般・編入』と記入する。)
2. 「※受付番号」…何も記入しない。
3. 「伴奏譜提出票」は伴奏譜の表紙に貼り付ける。伴奏譜が複数ある場合は、各自で「伴奏譜提出票」をコピーして楽譜ごとに貼付する。
4. 声楽専攻の「任意の1曲」の伴奏譜提出票には「任意曲」と必ず記載する。

練習室の貸出について（全試験共通）

入試志願者は試験期間中に無料で練習室を使用できる。使用できる時間帯は下記のとおりとする。
詳細については、出願者に交付する『受験心得』を参照。

受付日時		使用できる日にち・時間帯	
2/8(月)	15:00 ～ 16:00	2/8(月) 17:00 ～ 20:00	2/9(火) 7:00 ～ 8:00
2/9(火)	8:30 ～ 16:00	2/9(火) 17:00 ～ 20:00	2/10(水) 7:00 ～ 8:00
2/10(水)	8:30 ～ 16:00	2/10(水) 17:00 ～ 20:00	2/11(木) 7:00 ～ 8:00
2/11(木)	8:30 ～ 16:00	2/11(木) 17:00 ～ 20:00	2/12(金) 7:00 ～ 8:00
2/12(金)	8:30 ～ 16:00	2/12(金) 17:00 ～ 20:00	2/13(土) 7:00 ～ 8:00
2/13(土)	受付なし		

申込方法:受付日の当日夜間と翌日早朝の分について、それぞれ1時間単位で申し込める。

受験上の注意

1. 出願者には、本学より別途、受験にあたっての詳細を記載した『受験心得』を受験証とともに交付する。
2. 「一般選抜」「一般選抜（編入学）」志願者は、**2月8日（月）15時に学内掲示および本学ホームページで発表する指定の時刻・場所に集合する。**電話での問い合わせには応じない。伴奏合わせ集合日時はホームページで発表する。
3. 受験当日は自分の演奏曲の楽譜（必要な場合）、受験証、筆記用具、昼食（試験が昼食時間に及ぶ場合）を持参する。**受験証を持たない者は試験場に入場できない。**
4. **第2志望がある場合**は、特に記さない限り、各専攻実技と併せて第1・第2志望双方の専門科目を受験しなければならない。（例えば、ピアノを第1志望・管楽器を第2志望として出願した者は、ピアノおよび管楽器の専攻実技試験を受験する。上記の場合、副科ピアノ受験は免除される。）
 - ※指定された試験を受験しない場合は、第2志望を棄権したものとみなされる。
 - ※出願後の志望順位の変更は認めない。
 - ※副科ピアノ・理論ピアノ等の課題受験有無については下表を参照すること。

〈第2希望がある場合の副科ピアノ・理論ピアノ等の入学試験科目・課題の受験有無について〉

第1志望↓/第2志望→	ピアノ	弦・管・打・ ハープ	古楽器 チェンバロ	古楽器 左記以外	声楽	作曲	指揮	ミュージコロジー
ピアノ	/	/	/	/	/	*	理論P	/
弦・管・打・ハープ	/	/	/	副科P	副科P	*	理論P	副科P
古楽器（チェンバロ）	/	/	/	/	/	*	理論P	/
古楽器（チェンバロ以外）	/	副科P	/	/	副科P	*	理論P	副科P
声楽	/	副科P	/	副科P	/	*	理論P	副科P
作曲	*	*	*	*	*	/	理論P	*
指揮	理論P	理論P	理論P	理論P	理論P	理論P	/	理論P
ミュージコロジー	/	副科P	/	副科P	副科P	*	理論P	/

*印:作曲 創作志願者の場合は「理論ピアノ」または「楽器等演奏」、MSD志願者の場合は「楽器等演奏」

5. **伴奏者は本学で準備する。**伴奏譜は出願時に『伴奏譜提出票』(P.10参照)を貼付して提出する。
6. 伴奏付きの楽曲は、無伴奏で演奏してはならない(特に、指定のある場合を除く)。
7. **楽器の使用について**
 - 1) ピアノ、小太鼓、マリンバ、ハープ、チェンバロ以外は各自の楽器を持参して使用する。
 - 2) コントラバスは、本学または自分が所有する楽器のいずれを使用してもよい。
本学の楽器を使用する場合は、「出願書類記入上の諸注意」の「楽器の使用希望」に従い申し込む。
 - 3) コントラバス、小太鼓、マリンバ、ハープ、チェンバロの志願者には希望により他の志願者とは異なる方法で練習室を貸し出す。「志願票の記入方法」(P.9)を参照。該当する志願者には別途連絡する。
8. **受験を取りやめる場合は、本学まで必ず連絡すること。**
9. 服装については特に指定しない。
10. **入試期間中、保護者の校内立入は禁止する。**

試験日程表「一般選抜」「一般選抜（編入学）」

* 専攻実技試験順番・集合時刻・会場等の発表：2月8日(月)15時
 ・本学正面玄関に掲示および本学ホームページにて発表

* 伴奏合わせ集合日時発表：2月5日(金)15時
 ・本学ホームページへ掲載

< 予定 > (時間については変更となる可能性がある)

専攻 \ 日程	2/9 (火)	2/10 (水)	2/11 (木・祝)	2/12 (金)	2/13 (土)
ピアノ		午前～ 実技	午前～ 実技	* 各専攻共通	* 各専攻共通
ヴァイオリン ヴィオラ チェロ コントラバス		伴奏合わせ	午前～ 実技	9:00～10:00 楽典試験 (作曲・創作、 指揮専攻生を除く)	
管楽器		伴奏合わせ	午後～ 実技		
打楽器			午後～ 実技	10:30～12:00 一般学科試験 (ミュージコロジー専攻 生を除く)	10:30～11:30 聴音試験
ハープ			午前～ 実技		
古楽器		伴奏合わせ	午後～ 実技・専攻面接	13:00～ 副科ピアノ (ピアノ、 チェンバロ専攻生 を除く)	13:00～ 新曲視唱試験
声楽		伴奏合わせ	午後～ 実技		
作曲 ☆ 創作 ◇ MSD	☆9:00～16:00 作曲(2) (器楽曲作曲) ◇9:00～12:00 作曲(2) (小品作曲)	☆13:00～17:00 作曲(1) (和声) ◇13:00～15:00 作曲(1) (作曲)	☆午前～ 理論ピアノ ☆◇午後～ 専攻面接		
指揮	午前～ 専攻実技 専攻面接	13:00～16:00 指揮和声	午前～ 理論ピアノ		
ミュージコロジー		10:30～12:00 専攻小論文 (第2志望含む) 13:00～14:30 専攻外国語 (第2志望含む)	午後～ 専攻面接 (第2志望含む)		

(注) 斜線は専攻により試験のない日。

(注) ピアノ専攻実技は課題Iまたは課題IIの(1)(2)に分けて(同日または別日/順不同)で受験する。
 受験者数により、2月10日は試験を行わないことがある。

(注) 作曲専攻志願者で、理論ピアノに代えてピアノ以外の楽器等による演奏で受験する場合は、併せて、それぞれの専攻実技試験日程により受験する。(P.21参照)

「一般選抜」入学試験科目・課題

<試験科目>

専攻	試験科目	I 一般学科 「国語」 「英語」	II 専門科目			III 専攻別 試験
			1	2	3	
			楽典 ※1	聴音・新曲視唱 (A課題/B課題)※1	副科ピアノ	
	注意事項	●試験時間: 1時間30分 (2教科を上記時間 内で解答する)	●試験時間: 1時間	●聴音:試験時間1時間 ●新曲視唱:原則として固定 ド唱法を用いるが、移動ド唱 法を用いてもよい。	●課題は下記参照	●専攻別課題は P.13~22参照
ピアノ	○	○	A課題	—	○	
弦楽器・管楽器・ 打楽器・ハープ・声楽・ 古楽器(チェンバロ以外)	○	○	B課題	○	○	
古楽器(チェンバロ)	○	○	B課題	—	○	
作曲(創作)	○	—	A課題	(理論ピアノまたは 楽器等演奏) ※2	○	
作曲(MSD)	○	○	B課題	(楽器等演奏)※3	○	
指揮	○	—	A課題	(理論ピアノ)※4	○	
ミュージコロジー	—	○	(B課題)※5	(楽器等演奏)※5	○	

※1 出願時に「認定証」が提出された科目については試験を免除する。(認定証についてはP.6参照)

聴音・新曲視唱は専攻により課題が異なる。A課題・B課題の内容はホームページに掲載している過去問題を参照のこと。
なお、第2志望まで希望する場合、課題が異なる場合は、受験当日の指示に従うこと。

※2 「副科ピアノ」にかわり、「理論ピアノ」試験又は「楽器等演奏」を課す。楽器等演奏は専攻面接試験内で行う。(P.21参照)

※3 「副科ピアノ」にかわり、「楽器等演奏」を課す。楽器等演奏は専攻面接試験内で行う。(P.21参照)

※4 「副科ピアノ」にかわり、「理論ピアノ」試験を課す。(P.22参照)

※5 「聴音・新曲視唱(B課題)」もしくは「楽器等演奏(ピアノ以外も可)」のいずれかを選択する。「(副科ピアノ)」の受験は不要。)楽器等演奏を選択する場合は、専攻面接試験内で行う。(楽器等演奏についてはP.22参照)

<副科ピアノ>

課題 自由曲 1曲……ソナチネ・アルバム程度以上(暗譜で演奏する)

「一般選抜」入学試験科目・課題

<専攻別試験課題>

ピアノ

次の課題Ⅰまたは課題Ⅱのどちらかを選択して、暗譜で演奏すること。
試験は、(1)と(2)に分けて(同日または別日／順不同)行う。

■ 課題Ⅰ 以下の(1)、(2)を演奏する。

- (1) L.v.Beethoven :任意のソナタ 1曲(全楽章) 繰り返しは省略するが、D.C.はすること。
ただし、次の6曲は除く。 op.14-1、op.14-2、op.49-1、op.49-2、op.79、op.106
演奏箇所については**2月9日(火)15時**に学内掲示および本学ホームページで発表する。
- (2) 下記(a)、(b)を演奏する。ー演奏する順序は自由ー
- (a) J.S.Bach :Das Wohltemperierte Klavier 第Ⅰ巻または第Ⅱ巻から任意の1曲
(b) F.Chopin :Etudes op.10、op.25 から任意の2曲(ただし、op.10-6、op.25-7は除く)

■ 課題Ⅱ 以下の(1)、(2)を演奏する。全体で15分以上とする。

- (1) バロックから古典派の作品
(2) ロマン派以降の作品

- *ピアノ独奏用作品に限る。
- *内部奏法等を含んだ作品は除く。
- *変奏曲の抜粋は不可。
- *時間の都合により、一部省略させることがある。
- *ソナタの楽章の抜粋や、組曲からの抜粋は可。

- *出版されているものに限る。
- * (1)、(2)とも複数の曲でも可。
- *繰り返しは省略すること。

弦楽器

以下の(1)、(2)、(3)をいずれも暗譜で演奏する。(専攻楽器によって課題曲数は異なる。)
※伴奏者は本学で準備する。(無伴奏作品を除く)

a) ヴァイオリン

- (1) N.Paganini:カプリスの中から任意の1曲(No.24以外は繰り返しなし)
- (2) 以下のコンチェルトの中から任意の1曲(第1楽章または終楽章または指定された箇所)
- | | |
|---------------------|--------------------------------------|
| 1. B.Bartók | :第2番 |
| 2. J.Brahms | :D-dur |
| 3. M.Bruch | :第1番 g-moll |
| 4. A.Dvořák | :a-moll |
| 5. E.Elgar | :h-moll |
| 6. H.W.Ernst | :fis-moll op.23(独奏部分から第237小節まで) |
| 7. A.Glazunov | :a-moll(第1部:アレグロの前まで、または 第2部:アレグロから) |
| 8. E.Lalo | :スペイン交響曲 |
| 9. F.Mendelssohn | :e-moll |
| 10. N.Paganini | :第1番 D-dur |
| 11. S.Prokofiev | :第1番 D-dur |
| 12. S.Prokofiev | :第2番 g-moll |
| 13. C.Saint-Saëns | :第3番 h-moll |
| 14. J.Sibelius | :d-moll |
| 15. P.I.Tchaikovsky | :D-dur |
| 16. H.Vieuxtemps | :第5番 a-moll(アダージョの前まで) |
| 17. H.Wieniawski | :第1番 fis-moll |
| 18. H.Wieniawski | :第2番 d-moll |

「一般選抜」入学試験科目・課題

b) ヴィオラ

- (1) J.S.Bach: 無伴奏チェロ組曲の中から任意の楽章(繰り返しなし)
- (2) 以下のコンチェルトの中から任意の1曲(21～23は第1楽章、または終楽章)
 19. F.A.Hoffmeister: D-dur 第1楽章 (カデンツァ付)
 20. C.Stamitz : D-dur op.1 第1楽章 (カデンツァ付)
 21. B.Bartók
 22. P.Hindemith : Der Schwanendreher (白鳥を焼く男)
 23. W.Walton

c) チェロ

(1)、(2)、(3)の順に演奏すること。尚、演奏の途中でカットする場合がある。

- (1) 以下のすべてを演奏する。
 - スケール 4オクターブ 一弓8音 C-durとa-moll
 - 6度の重音スケール 2オクターブ 一弓2音 C-dur
 - 8度のオクターブ 2オクターブ 一弓2音 C-dur
- (2) J.S.Bachの無伴奏組曲6曲の中から任意のプレリュード1曲
- (3) 以下のコンチェルト等の中から任意の1曲(第1楽章または終楽章)
 24. L.Boccherini : B-dur
 25. A.Dvořák : h-moll
 26. E.Elgar : e-moll (1、2楽章または終楽章)
 27. J.Haydn : 第1番 C-dur
 28. J.Haydn : 第2番 D-dur
 29. A.Khachaturian : e-moll
 30. E.Lalo : d-moll
 31. S.Prokofiev : 第2番 e-moll op.125 Sinfonia Concertante
 32. C.Saint-Saëns : 第1番 a-moll op.33
 33. R.Schumann : a-moll
 34. D.Shostakovich : 第1番 Es-dur op.107
 35. P.I.Tchaikovsky : Rococo-Variations (主題と最終変奏を含めて10分程度にまとめる)
 36. S.Barber : op.22
 37. D.Kabalevsky : op.49
 38. S.Prokofiev : op.132 Concertino
 39. W.Walton

d) コントラバス

次の(1)または(2)の中から1曲を選び、演奏する。

- (1) 任意のコンチェルトの第1楽章または第3楽章(10分以内)
- (2) 任意のバロックソナタの緩徐楽章と急速楽章(10分以内)
上記課題以外の条件で受験を希望する者は、受験生の実技教員・指導者による理由書を出願時に提出すれば受験することができる。

「一般選抜」入学試験科目・課題

管 楽 器

以下の(1)、(2)、(3)を演奏する。(専攻楽器によって課題曲数は異なる。)

暗譜で演奏するか否かは自由とする。 ※ 伴奏者は本学で準備する。(無伴奏作品を除く)

a) ピッコロ

以下の(1)をピッコロで、(2)をフルートで演奏する。

- (1) J.S.Bach : Flute Sonata C-dur BWV1033より Adagio
- (2) E.Köhler : フルード演奏の上達 op.33 第2巻より 任意の1曲

b) フルード

- (1) J.Andersen : 24 Studien op.21から No.24
- (2) 以下の(a)～(f)から任意の1曲を演奏する。
 - (a) G.Enesco : Cantabile et Presto
 - (b) G.Fauré : Fantaisie
 - (c) E.Bozza : Image
 - (d) 一柳慧 : 忘れえぬ記憶の中に
 - (e) S.Karg-Elert : Sonata Appassionata op.140
 - (f) I.Yun : Etüden より No.5 Allegretto

c) オーボエ

- (1) W.Ferling : 48 Etudes (Pierre Pierlot 版)
No.5、6、9、10、14、17、18、19、20、24、27、35の中から任意の1曲
- (2) 以下の(a)または(b)のいずれかを演奏する。
 - (a) J.Haydn : Concerto for Oboe C-dur (Breitkopf 版)より第1楽章
 - (b) W.A.Mozart : Concerto for Oboe C-dur K.314 (版は問わない)より第1楽章 (カデンツァなし)

d) クラリネット

- (1) 以下の(a)または(b)のいずれかを演奏する。
 - (a) C.Rose : 32 Etudes (Leduc社版)から、任意の奇数番号と偶数番号をそれぞれ1曲 (合計2曲)選択する。
 - (b) E.Cavallini : 30 Capricesから任意の1曲
- (2) 以下の(a)または(b)のいずれかを演奏する。
 - (a) C.M.v.Weber : Concertino op.26
 - (b) C.M.v.Weber : Concerto op.73 f-moll 第1楽章

e) バス・クラリネット

- (1) U.Delécluse : Vingt étude faciles 1、3、5、7番より任意の1曲
- (2) J.Semler-Collery : Légende et Divertissement pour clarinette basse et piano より
“Divertissement”
- (3) R.Eichler : Scales for Clarinet より1番 (ソプラノクラリネットで演奏のこと) ※調性は当日指定する

f) ファゴット

- (1) J.Weissenborn : Fifty Bassoon Studies op.8 Vol. II より、No.4、13
- (2) G.Ph.Telemann : Sonate f-moll より Triste、Allegro (繰り返しなし)

g) サクソフォン

- (1) W.Ferling : 48 Etudes (Leduc社版)から、任意の奇数番号と偶数番号をそれぞれ1曲 (合計2曲)選択する。
- (2) 任意の楽曲を1曲 (10分程度、サクソフォンのためのオリジナル作品に限る。)

「一般選抜」 入学試験科目・課題

h) トランペット

繰り返しは省略する。

- (1) 以下の曲から任意の1曲
G.Kopprasch :60 Etudes for Trumpet (版指定なし) No.8、10、13、15、19
- (2) 以下の6曲から任意の1曲
 - (a) G.Alary :Morceau de Concours (A.Leduc社版)
 - (b) J.Ed.Barat :Fantaisie en mi-bémol (A.Leduc社版)
 - (c) Ph.Gaubert :Cantabile et Scherzetto (A.Leduc社版)
 - (d) J.Guy Ropartz :Andante and Allegro (International Music社版)
 - (e) F.Thomé :Fantasie (A.Leduc社版)
 - (f) J.B.Arban :Fantaisie Brillante より
Introduction、Theme、Variation I、Variation II

i) テノール・トロンボーン

繰り返しは省略する。

- (1) G.Kopprasch :60 Etudes for Trombone No.6、14、19、42、44 から任意の1曲
- (2) 以下の3曲から任意の1曲
 - (a) B.Marcello :Sonata F-dur 第1、4楽章 (International Music社版)
 - (b) E.Sachse :Concertino 最初からAdagioの終わりまで (International Music社版)
 - (c) A.Guilmant :Concert Piece op.88 (International Music社版)

j) バス・トロンボーン

- (1) O.Blume :36 Studies for Trombone with F Attachment
No.7、8、14、19、31 から任意の1曲 (Carl Fischer社版)
- (2) 以下の3曲から任意の1曲
 - (a) A.Lebedev :Concerto in One Movement (Musicus社版)
 - (b) E.Sachse :Concertino 最初からAdagioの終わりまで (International Music社版)
※ F-durで演奏してもよい
 - (c) E.Bozza :Allegro et Finale (A.Leduc社版)

k) ユーフォonium

繰り返しは省略する。

- (1) M.Bordogni (arr.J.Rochut):Melodious Etudes for Trombone No.8 (Carl Fischer社版)
- (2) G.Kopprasch:60 Etudes for Trombone No.33 (全音楽譜出版社版)

l) テューバ

- (1) 以下の曲から任意の1曲を演奏する。繰り返しは省略する。
G.Kopprasch :60 Etudes for Tuba No.11、14、27、35 (版指定なし)
- (2) 以下の曲から任意の1曲を演奏する。
M.Bordogni :43 Bel Canto Studies for Tuba No.1、2、6 (Robert King社版)

m) ホルン

- (1) 以下の3曲から任意の1曲 (版指定なし)
 - (a) W.A.Mozart:Horn Concerto No.3から 第1楽章 (カデンツァなし)
 - (b) W.A.Mozart:Horn Concerto No.2から 第1楽章
 - (c) W.A.Mozart:Horn Concerto No.4から 第1楽章 (カデンツァなし)

「一般選抜」入学試験科目・課題

打楽器（本学の楽器を使用）

以下の(1)、(2)、(3)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a) パーカッション

- (1) 小太鼓による1つ打ち、2つ打ち(Snare offで演奏)
クレッシェンド・ディミニユエンドロール打ち(< >) (Snare onで演奏)
- (2) 小太鼓課題2曲(Snare onで演奏)
 - ① M.Goldenberg:Modern School for Snare Drum(A.J.Cirone)から
Roll Exercise in 2/4(P.44)
 - ② Portraits in Rhythm (A.J.Cirone)から No.1
- (3) マリンバによるスケールとアルペジオ（下記譜例参照）
#・b 3つまでの長調・短調から当日指定する。

b) マリンバ

- (1) 小太鼓による1つ打ち、2つ打ち(Snare offで演奏)
- (2) マリンバによるスケールとアルペジオ（下記譜例参照）
#・b 全調の長調・短調から当日指定する。
- (3) 自由曲 8分以内(カット演奏も可)

< 譜例 >

短調は和声的短音階・旋律的短音階の両方とする。

和声的短音階

旋律的短音階

「一般選抜」入学試験科目・課題

ハープ

以下の(1)、(2)、(3)を暗譜で演奏する。

- (1) 変ホ長調のスケール・アルペジオ・和音
- (2) N.Ch.Bochsa:50のエチュード第1巻から1曲
- (3) 自由曲 1曲(無伴奏とする)

古楽器

以下の(1)、(2)のすべてを演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。演奏後、専攻に関する面接を行う。

a) リコーダー

- (1) 課題曲
F.Mancini:リコーダーと通奏低音のためのソナタ集から任意の1曲
- (2) 初見演奏
5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

b) フラウト・トラヴェルソ

- (1) 課題曲
G.F.Händel:Sonata h-moll(Hallenser Sonata No.3, HWV376) 全楽章(繰り返しは任意)
[推薦楽譜]Bärenreiter社版(1995年、T.Best の新版)
- (2) 初見演奏
5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

c) バロック・オーボエ

- (1) 課題曲
G.F.Händel:Sonata B-dur HWV357 全楽章
- (2) 初見演奏
5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

d) ヴィオラ・ダ・ガンバ

- (1) 課題曲
M.Marais:ヴィオール曲集第2巻(1701年)から任意の組曲(10分程度にまとめること)
- (2) 初見演奏
5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

e) バロック・ヴァイオリン

- (1) 課題曲
 - ①17世紀イタリアのソナタから任意の1曲(Marini、Castello、Fontana、Uccellini等から)
 - ②A.Corelli:ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 作品5から
任意の1曲より第1・2楽章(ただし、No.12「ラ・フォリア」を除く)
 - ③J.S.Bach:ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ G-dur BWV1021より第1楽章
- (2) 初見演奏
5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

「一般選抜」 入学試験科目・課題

f) バロック・チェロ

(1) 課題曲

- ① イタリアンチェロのソナタ(Vivaldi, Geminiani, Lanzetti等)から任意の1曲(全楽章)
- ② J.S.Bach: 無伴奏チェロ組曲から任意の1曲(全楽章)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

注1) リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバの志願者は当日 $a^1=415$ の専攻楽器を使用すること。

バロック・ヴァイオリンおよびバロック・チェロの受験にあたっては、モダン楽器での受験も可とする。

ただし、ピッチは $a^1=415$ とし、ガット弦およびバロック弓を使用すること。

注2) 伴奏者は本学で用意する。

g) チェンバロ

(1) 課題曲

次の作品をすべて演奏する。ただし、演奏順序は自由。

- ① J.S.Bach: 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第17番 As-dur
[推薦楽譜] Bärenreiter社版、Henle社版および ウィーン原典版
- ② D.Scarlatti: Sonata K.105
[推薦楽譜] カークパトリック編 60のソナタ 全音楽譜出版社版 および Heugel社版
- ③ F.Couperin: クラヴサン曲集 第2巻 第6オールド“Les Bergeries”
[推薦楽譜] Bärenreiter社版 および Heugel社版
- ④ G.Frescobaldi: Balletto(primo)- Corrente - Passacagli
[推薦楽譜] Bärenreiter社版

(2) 初見演奏

バロック時代の簡易な舞曲あるいはそれに準ずる小品。

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

※当日は後期プレミッシュ・モデル2段鍵盤チェンバロ(音域 FF-g^{'''}、ピッチ $a^1=415$ 、レジスタ8^{'''}8^{'''}4^{'''}L)を使用する。

※課題曲および推薦楽譜、使用楽器について不明な点がある場合は、事務局入試係に問い合わせること。

声 楽

暗譜で演奏する。

イタリア古典歌曲(注)2曲以上を含む5曲を提出し、そのうち任意の1曲と、抽選による1曲の合計2曲を演奏する。

出願の際、受験曲目票に原語で作曲者名と曲名を記入する。オペラ・アリア以外は調性も明記する。

◎出願書類とともに受験曲5曲の伴奏譜を必ず提出する。

「任意の1曲」には、伴奏譜提出票にもその旨を記入すること。(P.10参照)

(注) 以下の楽譜に記載の曲から選ぶこと。移調は自由。

Ricordi(リコルディ社)Arie Antiche vol.1・2・3

全音楽譜出版社「イタリア歌曲集」1(新版を含む)・2

教育芸術社「イタリア古典声楽曲集」1・2

「一般選抜」入学試験科目・課題

作曲

a) <創作>

- (1) 和声 バス、ソプラノ各1題(ピアノ使用不可 4時間)
- (2) 器楽曲作曲
与えられたモチーフの中から選択し、任意の器楽曲を作曲する。(ピアノ使用可 6時間)
- (3) 専攻に関する面接
- (4) 理論ピアノまたは楽器等演奏
下記ア)、イ)いずれかで受験する。

ア)理論ピアノ

- ① J.S.Bach: 2声のインヴェンション、または3声のシンフォニアから任意の1曲、または平均律クラヴィーア曲集第Ⅰ・Ⅱ巻から任意の1曲(プレリュードとフーガ)
- ② 自由曲1曲:上記の①と合わせて15分以内の楽曲とする。
注 ①②ともに暗譜で演奏すること。ただし②について、現代作品で、楽譜を見ながら弾くことが指定されている作品(例:不確定性の音楽)は、楽譜を見ることを可とする。
- ③ 新曲初見演奏1曲(予見時間5分)

イ)理論ピアノによらない楽器等演奏

(弦楽器・声楽は暗譜。これ以外の実技は、暗譜で演奏するか否かは自由とする)

- ① ピアノ以外の楽器(本学が専攻として設置している楽器に限る。※下記参照)または声楽による演奏(自由曲1曲 8分程度)
- ② 副科ピアノ(P.13参照) (①においてチェンバロを選択した者は除く。暗譜で演奏する)
- ③ 新曲初見演奏1曲(予見時間5分)・・・受験楽器または声楽による。

(注) 作曲専攻 a) 創作 (4) イ)に該当する志願者の①の実技試験は、P.12の実技試験日程の中で大学が指定する時間に受験すること。なお、伴奏合わせの時間は別途指定する。

b) <MSD>

- (1) 作曲(以下のいずれかを選択して実施する)
 - (a) 近親転調を含むバス和声課題(ピアノ使用不可 2時間)
 - (b) 旋律課題の自由な伴奏付け(ピアノ使用可 2時間)
- (2) 作品提出(以下の①および②を、出願時に提出すること)
 - ① 自作品2点の楽譜(音源あるいは映像を添付してもよい)
※楽譜は、紙媒体(印刷物)で提出すること。
※音源・映像を提出する場合は、CD-R、DVD-R、Blu-ray、USBメモリのいずれかで提出すること。
映像の際、作曲者氏名は出さないようにすること。
【ファイル形式】(以下のいずれか) ※提出物は返却しない
音源:WAV、AIFF、mp3 映像:mp4、mov
 - ② 作品解説
各作品について、A4用紙2枚以内で作成すること。以下の項目を含めること。
 - ・作曲者氏名(共同制作の場合は、他分野の制作者氏名・役割を記載)
 - ・作品タイトル
 - ・制作意図
 - ・使用した手法、機材、ソフトウェアなど
 - ・制作の背景や過程、工夫した点など
- (3) 専攻に関する面接
- (4) 楽器等演奏(含む声楽)※参照
自由曲1曲:10分以内の楽曲とする。(暗譜で演奏すること)

※ 楽器の使用についてはP.11 「7. 楽器の使用について」を参照のこと

「一般選抜」入学試験科目・課題

指 揮

- (1) 実技(暗譜で演奏するか否かは自由とする)
 - W.A.Mozart:「魔笛」序曲
 - L.v.Beethoven:Symphony No.2 第1楽章
 - 注:以上2曲とも、本学で用意した2台ピアノの伴奏による。
- (2) 面接
- (3) 和声
 - ソプラノ課題 1題(ピアノ使用不可:3時間)
- (4) 理論ピアノ
 - ※作曲専攻-a)〈創作〉(4)ア)と同じ。(P.21参照)

ミュージコロジー

- (1) 専攻小論文(1時間30分)
- (2) 専攻外国語(1時間30分)
 - 英語、ドイツ語、フランス語の中から1カ国語を選択する。
 - 辞書(電子辞書含む)の持ち込みを可とする。
- (3) 面接
 - ※「Ⅱ 専門科目」(P.13)において「2. 聴音・新曲視唱」を受験しない場合は、面接試験時に楽器等演奏^(注)を行うこと。

(注)「楽器等演奏」について

- ・ 楽器演奏または歌唱。弾き語りも可。伴奏者はなし。
- ・ 使用楽器、ジャンル、演奏曲目は問わない。
- ・ 出願時に使用楽器と楽曲名および作曲家名を所定の欄に記入すること。
- ・ 演奏時間は3分以上5分以内が目安。ただし、途中でカットすることがある。
- ・ 暗譜で演奏するか否かは自由とする。
- ・ 楽器は下記のものを除き、本人が持参すること。事前の搬入はできない。
 ※大学で用意できる楽器:ピアノ、コントラバス、ハープ、マリンバ、小太鼓、チェンバロ
 楽器以外の備品を使用する場合は、本人が持参すること。電源等を使用する場合は、出願時に入試係まで申し出ること。
- ・ 面接と演奏は同じ部屋で実施する(各人の演奏終了後、その場で面接を行う)。

※作曲専攻、指揮専攻、ミュージコロジー専攻のいずれかを第2志望(他専攻を第1志望)としている場合の受験科目は第1志望による試験科目に加えて、各専攻のすべての課題を受験すること

「一般選抜（編入学）」入学試験科目・課題

<試験科目>

- I. 一般学科** 「一般選抜」(1年次入学)入試課題に同じ(P.13記載)
- II. 専門科目** 「一般選抜」(1年次入学)入試課題に同じ(P.13記載)
1. 楽典 ※1
 2. 聴音・新曲視唱 ※1、※2
 3. 副科ピアノ(ピアノ、チェンバロ、指揮専攻志願者を除く。) ※2
課題はP.13を参照。(作曲専攻志願者、ミュージコロジー専攻志願者はP.21も参照のこと。)
- III. 専攻別試験** (P.23～25参照)

※1 出願時に「認定証」が提出された科目については試験を免除する。(認定証についてはP.6参照)

聴音・新曲視唱は専攻により課題が異なる。

※2 ミュージコロジー専攻は「聴音・新曲視唱(B課題)」もしくは「楽器等演奏(ピアノ以外も可)」のいずれかを選択する。

(「副科ピアノ」の受験は不要)「楽器等演奏」を選択する場合は、専攻面接試験内で行う(「楽器等演奏」についてはP.22参照)

<専攻別試験課題>

ピ ア ノ

次の課題Ⅰまたは課題Ⅱのどちらかを選択して、暗譜で演奏すること。

試験は、(1)と(2)に分けて(同日または別日／順不同)行う。

■ 課題Ⅰ 以下の(1)、(2)を演奏する

(1) 10分程度の自由曲

(2) 下記(a)、(b)を演奏する。ー演奏する順序は自由ー

(a) J.S.Bach :Das Wohltemperierte Klavier I 巻またはII 巻から任意の1曲

(b) F.Chopin :Etudes op.10、op.25から任意の2曲(ただし、op.10-6、op.25-7は除く)

■ 課題Ⅱ 以下の(1)、(2)を演奏する。全体で15分以上とする。

(1) バロックから古典派の作品

(2) ロマン派以降の作品

※課題Ⅰ、課題Ⅱとも

*ピアノ独奏用作品に限る。

*出版されているものに限る。

*内部奏法等を含んだ作品は除く。

* (1)、(2) とも複数の曲でも可。

* ソナタの楽章の抜粋や、組曲からの抜粋は可。

* 変奏曲の抜粋は不可。

* 繰り返しは省略すること。

* 時間の都合により、一部省略させることがある。

弦 楽 器

一般選抜に同じ (P.14参照)

管 楽 器

一般選抜に同じ (P.16参照)

打 楽 器

一般選抜に同じ (P.18参照)

ハ ー プ

一般選抜に同じ (P.19参照)

「一般選抜（編入学）」入学試験科目・課題

古楽器

以下の演奏および演奏後、専攻の面接を行う。

注1) リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバの志願者は当日 $a^{\flat}=415$ の専攻楽器を使用すること。
バロック・ヴァイオリンおよびバロック・チェロの受験にあたっては、モダン楽器での受験も可とする。ただし、ピッチは $a^{\flat}=415$ とし、ガット弦およびバロック弓を使用すること。
注2) 伴奏者は本学で用意する。

a) リコーダー

以下の(1)、(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

- (1) 課題曲
F.Barsanti:リコーダーと通奏低音のための6つのソナタから 第2番 C-dur
- (2) 初見演奏
5分間の予見時間を与える。試奏はできない

b) フラウト・トラヴェルソ

以下の(1)、(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

- (1) 課題曲
J.-M.Leclair:Sonate e-moll op.2-1 (c.1723) 全楽章(繰り返しは任意)
- (2) 初見演奏
5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

c) バロック・オーボエ

以下の(1)、(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

- (1) 課題曲
 - ① G.F.Händel:Sonata B-dur HWV357 全楽章
 - ② J.-M.Hotteterre:組曲第3番(Deuxième Livre de pieces pour la Flûte Traversière Paris 1715) (D-durをC-durに移調して演奏すること)
- (2) 初見演奏
5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

d) ヴィオラ・ダ・ガンバ

一般選抜に同じ (P.19参照)

e) バロック・ヴァイオリン

一般選抜に同じ (P.19参照)

f) バロック・チェロ

一般選抜に同じ (P.20参照)

「一般選抜（編入学）」入学試験科目・課題

g) チェンバロ

- (1) 課題曲一次の作品をすべて演奏する。ただし、演奏順序は自由。
- ① L.Couperin:クラヴサン曲集から F-dur
[Heugel版]では Suite X IIIより(76)Prélude-(77)Allemande-(78)Courante-(80)Sarabande
 - ② J.J.Froberger:Toccatà III (FbWV 103)
 - ③ J.P.Sweelinck:変奏曲「Engelsche Fortuyn」
- (2) 初見演奏
バロック時代の簡易な舞曲あるいはそれに準ずる小品。
5分間の予見時間を与える。試奏はできない。
- (3) 通奏低音ー演奏試験
他の楽器との簡易なアンサンブル課題
演奏試験課題曲は2月6日(土)までに本人あてにメール送信する。
2月6日までに届かない場合は、事務局入試係に問い合わせること。

◎当日は後期プレミッシュ・モデル2段鍵盤チェンバロ(音域 FF-g^{'''}、ピッチa¹=415、レジスタ 8'8'4'L)を使用する。

声 楽

暗譜で演奏する

任意のオペラ・アリア(オラトリオ、コンサート・アリアを含まない) 1曲と自由曲4曲、計5曲提出。

そのうち任意の1曲と抽選による1曲の合計2曲を演奏する。

出願の際、受験曲目票に原語で作曲者名と曲名を記入し、オペラ・アリア以外は調性も明記する。

出願書類とともに受験曲5曲の伴奏譜を必ず提出する。(P.10参照)

作 曲

一般選抜に同じ (P.21参照)

指 揮

一般選抜に同じ (P.22参照)

ミュージコロジー

一般選抜に同じ (P.22参照)

合格発表、入学手続、入学金・授業料等

発表日 一般選抜(編入学を含む) 2027年2月17日(水)16時予定

発表方法 合格者の「受付番号」を次の方法で発表する。
①学内掲示(仙川キャンパス・1Fロビー) ②本学ホームページ

書類の交付 合格者には、入学手続書類(合格者心得)を同日に送付する。

入学手続期間 2027年3月1日(月)～15日(月)【郵送必着】
※締切日までに手続きを完了しない場合は、入学資格を失う。

提出書類等

1. 「入学手続納付金払込用紙」の副票
2. 誓約書(本学が指定する用紙)
3. 身元保証書(本学が指定する用紙)
4. 学籍台帳(本学が指定する用紙一葉・タテ7cm×ヨコ5cmの写真貼付)
5. 写真(タテ4cm×ヨコ3cm)1枚
6. 住民票または住民票記載事項証明書1通(マイナンバーは不要。入学する本人のみ記載のもの)
7. 保健調査票(予防接種歴確認書)
8. 著作隣接権等の取り扱いに関する同意書 他

※ 入学手続に関する詳細は、『合格者心得』で通知する。

※ 手続きを完了した者には、「入学許可証」を交付する。

※ 入学手続完了後に入学を辞退する者には、指定した期日までに所定の手続きをとれば、入学金以外の納入金を返還する。

入学金・授業料等(2027年度予定額)

1. 入 学 金	160,000円	(入学時のみ)
2. 教育充実費	300,000円	(年額)
3. 授 業 料	1,445,000円	(年額)
4. 施設設備費	390,000円	(年額)
5. 学生会費	6,600円	(年額)

(注)1) 1.2.の全額および 3.4.5.の半額(合計1,380,800円)が、入学手続時に納入する金額である。

2) 上記の他に以下のような受講料が発生する場合がある。

外国人講師等の特別レッスン	10,000円～15,000円程度
選択副科受講料	96,000円(副科声楽 66,000円)
室内楽・二重奏ソナタ受講料	50,000円
教職課程受講料	高等学校教諭一種免許状 60,000円 高等学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状 100,000円

3) 経済情勢の変動等に応じて次年度以降の校納金については改定があり得る。

特待生制度および奨学金制度・学生会館

特待生制度

入学試験または所定の学内試験で、専攻実技の成績が極めて優秀であると認められた学生は、「特待生」として入学金・教育充実費・授業料などの全額または一部を免除する。

奨学金制度

成績優秀者または経済的な理由により就学が困難な大学生を対象とする各種の奨学金制度がある。

1. 本学独自の奨学金制度〔給付〕

◎桐朋学園音楽部門奨学金

向学心を持ちつつも、経済的理由で就学が困難な学生・生徒を対象とする。
1年ごとに選考を行い、授業料の1割から10割を年1回(10月)給付する。
原則として、日本学生支援機構奨学金(第一種)の算出基準に準拠し、実状を考慮し決定する。

申請方法:入学前と入学後の申請がある。

① 入学前の申請

入試要項添付の申請書に必要事項を記入、書類を添付のうえ入学試験志願票とともに提出する。給付の可否についての審査結果は、2027年2月20日頃(予定)に郵送する。
採用者には、入学後、奨学金運営委員会による面接が7月中旬に実施される。

② 入学後の申請

在学生を対象とする募集要項は4月末に学内専用サイトへ掲載する。入学前に申請した者も、再度申請することができる。

◎桐朋学園音楽部門特別奨学金

成績の特に秀でた学生に対し給付される。

◎桐朋学園音楽部門芸術教育設備・拡充資金及び奨学金基金奨学生

当該年度の入学試験で、秀抜なる成績を得た学生に給付される。

◎桐朋学園音楽部門同窓会奨学金(大学2年在学生対象)

桐朋学園音楽部門同窓会から、向学心があり心身ともに健全で、経済的理由によって修学が困難な大学2年生を対象に給付される。

◎チェロアンサンブル・サイトウ奨学金(チェロ専攻生対象)

当該年度の入学試験等で、秀抜なる評価を得たチェロ専攻の学部生に給付される。

◎鍋島元子奨学金(古楽器専攻生対象)

本学出身のチェンバリスト、故・鍋島元子の名を冠した奨学金。
当該年度の入学試験等において、優秀な成績を修めた者に給付される。

◎桐朋学園音楽部門 佐々木成子賞 奨学金(声楽専攻・声楽コース・声楽研究領域対象)

大学ならびに大学院の声楽専攻生のうち、年間を通じて優秀な成績を修めた者に対し奨学金が給付される。

◎桐朋学園音楽部門 留学支援 江崎スカラシップ

次世代の音楽界を担うことが期待される大学・大学院・ディプロマコース・大学院大学のピアノ・弦楽器専攻生を対象に海外留学支援のための奨学金が給付される。

対象者:ピアノ・弦楽器専攻生2名 給付金額:1名につき500万円(ただし、1回限り)

2. その他の奨学金 等

- ◎日本学生支援機構奨学金(国の奨学金、大学を通じて申請) <https://www.jasso.go.jp>
- ◎各都道府県・地方公共団体奨学金
- ◎企業、交通遺児育英会等の奨学金
- ◎国の教育ローン(日本政策金融公庫が取り扱う公的な融資制度)
<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

3. 高等教育の修学支援制度について

桐朋学園大学は国による「高等教育の修学支援新制度」の対象校となっている。

「高等教育の修学支援新制度」の対象者は、本学在学にあたり以下の支援を受けることができる。

区分	国 〈授業料・入学金減免〉		日本学生支援機構 〈給付型奨学金〉	
	入学金(減免額)	授業料(減免額)	自宅生	自宅外生
第Ⅰ区分	160,000	700,000(年額)	38,300(月額)	75,800(月額)
第Ⅱ区分	第Ⅰ区分の3分の2の額			
第Ⅲ区分	第Ⅰ区分の3分の1の額			
第Ⅳ区分	第Ⅰ区分の4分の1の額			

※単位は円。年度中に区分が変わった場合、減免額・給付額が変更となる。

※入学金の減免は、新入生のみ対象(入学時のみ)。

※第Ⅰ区分～第Ⅲ区分は、世帯の所得金額に基づく区分となる。

※第Ⅳ区分は、多子世帯に限られる。

参考:日本学生支援機構 給付型奨学金 <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

[高等教育の修学支援新制度の詳細について]

・文部科学省 高等教育の修学支援新制度 <https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

学生会館

自宅通学が困難な女子学生・生徒のために、調布キャンパスより徒歩約5分(京王線調布駅より徒歩約15分)の場所に学生会館を用意している。

タイプ	防音ワンルーム型マンション
住戸面積	約21㎡(1住戸当り)
仕様	ミニキッチン・バス・トイレ・エアコン等各室完備
住戸数	115戸
入居費	月額 78,000円
その他	7:00～23:00まで練習可能 入居時に諸経費として、50,000円が必要。光熱水費は自己負担。 ※経済情勢の変動等に応じて次年度以降の入居時の諸経費については改定があり得る

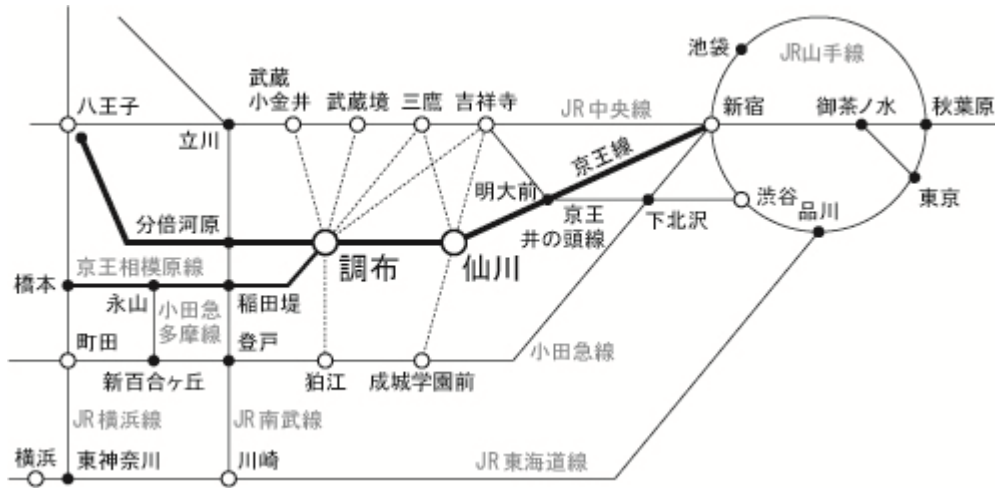
2027年度の募集について

- (1) 募集人数は約30名。希望者多数の場合は抽選(高校生、ディプロマ・コース生を含む)。
- (2) 入居希望者は「学生会館入居願」(ダウンロードする書類)を入学試験志願票とともに提出すること。
- (3) 入居の可否通知は、合格発表日後1週間以内に合格者宛に発送する。

交通機関案内図

■ 交通案内

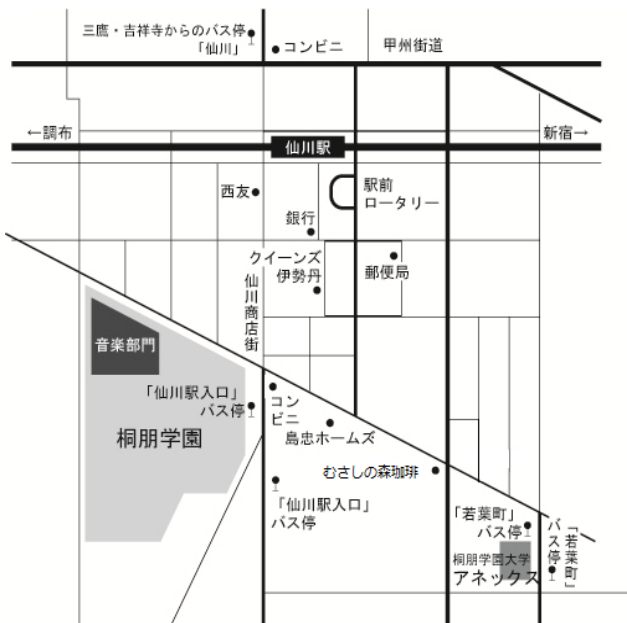
＜調布駅－新宿駅より特急で約16分、仙川駅－新宿駅より快速で約18分＞



京王線以外からのルート

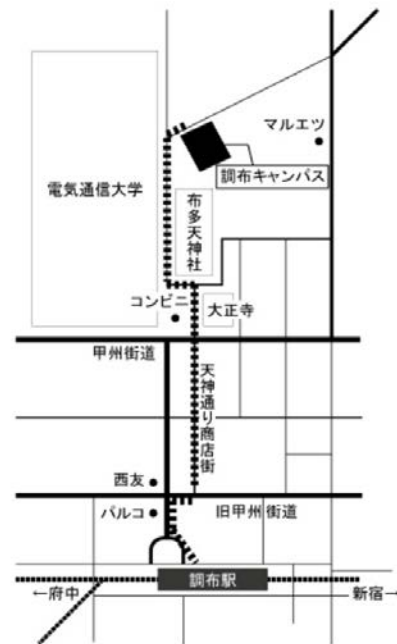
<p>＜仙川キャンパス＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小田急線「成城学園前」駅発（バスの所要時間約15分） 小田急バス「狛江営業所」または「調布駅南口」行き 「仙川駅入口」バス停下車 徒歩1分 ●JR中央線「吉祥寺」駅発（バスの所要時間約25分） 小田急バス「仙川」行き「仙川」バス停下車 徒歩6分 ●JR中央線「三鷹」駅発（バスの所要時間約30分） 小田急バス「仙川」行き「仙川」バス停下車 徒歩6分 	<p>＜調布キャンパス＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小田急線「狛江」駅発（バスの所要時間約20分） 小田急バス「調布駅南口」または「武蔵境駅南口」行き 「調布駅南口」または「調布駅北口」バス停下車 徒歩10～12分 ●JR中央線「吉祥寺」駅、「三鷹」駅、「武蔵境」駅、「武蔵小金井」駅発（バスの所要時間約30～40分） 小田急バス「調布駅北口」行き（吉祥寺、三鷹、武蔵境） 京王バス「調布駅北口」行き（武蔵小金井） 「調布駅北口」バス停下車 徒歩10分
--	---

◆ 仙川キャンパスのアクセス



● 京王線「仙川」駅より 徒歩5分

◆ 調布キャンパスのアクセス



● 京王線「調布」駅より 徒歩10分